

## 複式第3・4学年 国語科学習指導案

Ⅱ組 第3学年 男子4名 女子4名  
第4学年 男子4名 女子4名 計16名  
指 導 者 中 野 晶 仁

- 1 単 元 読んで、考えたことを発表しよう「海をかつとばせ」（3年光村上）  
物語を読んでしようかいしよう「一つの花」（4年光村上）

### 2 単元について

#### (1) 単元の位置とねらい

(第3学年)

この期の子どもたちは、これまで「音読しよう」で、二つの場面についての登場人物の行動、場面の様子の違いを、会話や音などの叙述を基に読み取る能力を身に付けている。さらに、気に入った本を読んだり、その感想を伝えたりしたいという願いをもっている。

そこでここでは、場面ごとに登場人物の性格や気持ち、情景などについて、叙述を基に読み取る能力を高めるとともに、自分と登場人物を比較しながら考えたことを、相手に分かりやすく伝えようとする態度を身に付けさせたいと考え、本単元「読んで、考えたことを発表しよう」（教材「海をかつとばせ」）を設定した。

この学習は、場面の移り変わりに注意して読む「物語の感想をまとめよう」の学習へと発展するものである。

#### (2) 指導の基本的な立場

教材「海をかつとばせ」は、等身大の少年が主人公の物語文である。野球が大好きな少年の練習に取り組む姿に、自分の体験を重ねたり比較したりしながら読み進めるのに適している。また、時間の経過とともに五つの場面に分けることができ、それぞれの場面の主人公の気持ちを読み取りやすい教材である。

そこで、登場人物の人物像や気持ちについて、叙述を基にまとめさせ、それに対する自分の考えから感想をもたせる必要がある。

具体的にはまず、「今自分ががんばっていること」を発表させ、考え方・感じ方の違いに気付かせる。そして、教師が作成した等身大の人物が登場する本の感想のモデルを示し、自分と登場人物を比較することでよりよい感想になることに気付かせ、単元の目標を設定する。

次に、「海をかつとばせ」を場面ごとに読み、行動などから人物像を考えさせる。その際、と

(第4学年)

この期の子どもたちは、これまで「音読劇をしよう」で、場面の移り変わりに注意しながら、中心人物の気持ちの変化、情景などについて、叙述を基に想像して読む能力を身に付けている。さらに、自分が読んだ物語を紹介したいという願いをもっている。

そこでここでは、登場人物の心情をキーワードや叙述を基に想像して読み取る能力を高めるとともに、物語の紹介したい部分とその理由を明確にして伝えようとする態度を身に付けさせたいと考え、本単元「物語を読んでしようかいしよう」（教材「一つの花」）を設定した。

この学習は、場面の移り変わりに即して登場人物の行動や気持ち、関係の変化を考え、友達と交流して読みを深める「読んで考えたことを話し合おう」の学習へと発展するものである。

教材「一つの花」は、平和をテーマとした物語文である。平和をテーマにしたこの物語は、いろいろな種類の本へと読書を広げていこうとするこの期の子どもたちに適している。また、「一つだけ」というキーワードや会話・行動・情景描写など複数の叙述を基に、人物の気持ちや場面の情景を想像しやすい教材である。

そこで、キーワードを基に読み取ったことから感想をまとめさせ、テーマに沿って本を探し、紹介する活動へとつなげていく必要がある。

具体的にはまず、「平和について」の考えを発表させ、考え方・感じ方の違いに気付かせる。そして、教師が平和についての本の紹介のモデルを示し、心に残った部分を引用し、その理由を明確に説明することでよりよい紹介ができることに気付かせ、単元の目標を設定する。

次に、「一つの花」を場面ごとに読み、行動や会話などから、登場人物の気持ちや世の中の様子を

らえた人物像と自分との共通点や相違点から考 | 読み取らせる。その際、戦中と戦後の場面を比  
 えたことを基に、感想をもたせるようにする。 | 較させ、題名に込めた筆者の思いを考えさせる。

最後に、読書会を開き、3年生は「自分と等身大の主人公が登場する本を読んで考えたこと」の  
 発表、4年生は「平和に関する本を読んだ感想」を基に本の紹介を行う。

単元の終末は一斉指導を行い、導入と教材を読み取る際は学年別指導で行う。特に、3年生の人物  
 と自分自身の比較や、4年生の作者の思いを考えさせる活動については、ガイドを中心に意見の  
 分類を行わせ、交流したことで考えが強固・付加・修正したことに気付かせる。

### (3) 子どもの実態

本学級の子どもたちが、本単元の学習をどのように受け止め、どのような興味・関心をもっている  
 かを調査した結果は、以下の通りである。なお、( )内の数字は人数を示す。(複数回答)

第3学年	第4学年
① <b>初発の感想</b> ○ワタルはすごい。(5) ○男の子の正体はだれなのか。(4) ○野球をしたくなった。(2)	① <b>初発の感想</b> ○お父さんのその後を知りたい。(4) ○平和な世の中はすばらしい。(3) ○ゆみこはかわいそう。(3) ○悲しい。(2)
② <b>今一生懸命取り組んでいること</b> ○スポーツ(6) ○ピアノ(3) ○勉強(2)	② <b>戦争に関する知識</b> ○命を奪う(4) ○爆弾(3) ○アメリカと戦った(2) ○食糧不足(2)
③ <b>主人公と自分との比較</b> ○共通点…野球好き(2), 朝の運動(1) ○相違点…ねばり強さ(2)	③ <b>戦争に関する知識の情報源</b> ○本…ちいちゃんのかげおくり(8) ○テレビ番組(2) ○親(1)
④ <b>取り組みたい言語活動</b> ○音読劇(4) ○紙芝居(3) ○絵本(1)	④ <b>取り組みたい言語活動</b> ○音読劇(8) ○紙芝居(3) ○紹介(2)
⑤ <b>難語句</b> ○ピンチヒッター ○アドバレーン ○ベンチ専門 ○水平線 ○素振り	⑤ <b>難語句</b> ○配給 ○防空頭巾 ○軍歌 ○とんとんぶき ○兵隊

子どもたちの多くは、主人公の「ワタル」に着目している。(①)また、全員がワタルと同じように一生懸命に取り組んでいるものがある。(②)しかし、自分とワタルを比較した回答は少なく、人物像をとらえているとは言えない。(③)これは、人物を中心とした読み取りや等身大の人物の本の読書の経験不足などが原因と考えられる。また、取り組みたい言語活動は、音読劇や紙芝居など、これまでの経験で楽しかったものが挙げられている。しかし、本単元で取り扱う感想を交流する読書会への関心・意欲は低いので、導入段階で感想を交流させることで、そのよさに気付かせたい。(④)難語句として、野球の用語が多く挙げられているので、辞書で調べさせる必要がある(⑤)

子どもたちの多くは、「ゆみこ」「お父さん」の二人に着目したり、平和に関する考えをもったりすることができている。(①)しかし、「一つだけ」というキーワードを基に考えたり、本文の引用をしたりしている子どもは少ない。戦争に関する知識は、既習の「ちいちゃんのかげおくり」からのものがほとんどで、平和に関する本の読書経験は少ない。(②③)また、取り組みたい言語活動としては、音読劇や紙芝居など、これまでの経験で楽しかったものが挙げられている。本単元で取り扱う本の紹介についても関心をもっている子どもがいるので、そのよさを導入段階で話し合わせたい。(④)難語句として、戦争時代に使用した道具などの用語が多く挙げられているので、写真で示すなどの工夫をする必要がある。(⑤)

### (4) 指導上の留意点

ア 主人公の人物像をとらえさせるために、五つの場面に分け、それぞれの場面での行動や会話から、気持ちやその変化を話し合わせる。  
 イ 主人公と自分を比較させるために、自分が今がんばっていることを想起させたり、お互

ア 題名に込めた筆者の思いをとらえさせるために、人物の行動や会話、「一つだけ」などのキーワードなどを根拠に話し合わせる。  
 イ 本の紹介したい部分とその理由を明確にするために、自分の考えの根拠となる叙述を複数集

いの考えについて分類してまとめさせたりする。

ウ 自分の読みの深まりを振り返らせ、達成感・成就感を味わわせるために、自分と等身大の主人公の本を並行読書させ、その登場人物に対する考えを、読書会で同学年間や異学年間で伝え合わせる。

エ 単元の特性、子どもの実態を考慮して、単元の終末は一斉指導を行う。間接指導時には、ガイド学習を行い、相手に分かりやすい伝え方、相手と自分の考えを比較する聞き方・問い返し方を発揮させ、考えを強固・付加・修正させていきたい。

めて関係付けさせる。

ウ 自分の読みの深まりを振り返らせ、達成感・成就感を味わわせるために、平和をテーマにした本を並行読書させて自分の考えをまとめさせ、読書会で同学年間や異学年間で本の紹介を行わせる。

### 3 目標

- (1) 等身大の主人公の本の読書をし、自分と比較して感想をもととすることができる。
- (2) 人物像をとらえて自分と比較して考え、出した考えを分類することができる。
- (3) 場面の移り変わりに注意しながら、登場人物の性格や気持ちの変化、情景などについて、叙述を基に想像して読むことができる。

- (1) 平和をテーマとした本の読書をし、感想を基に友達に紹介しようとするすることができる。
- (2) 筆者が「一つの花」という題名を付けた理由を、キーワードや複数の叙述を関係付けてとらえることができる。
- (3) 登場人物の心情を、場面の状況の変化に応じて、叙述を基に想像して読むことができる。

### 4 指導計画 (全9時間)

過程	学習課題・主な学習活動 (第3学年)	学習課題・主な学習活動 (第4学年)
つかむ・みとおす①	<p>1 「今自分ががんばっていること」をテーマに話し合い、単元の目標を設定する。</p> <p>ピアノの練習、きつけれどあきらめないよ。</p> <p>50m走のタイムを縮ために、毎日走っている。</p> <p>感想のモデルの提示</p> <p>登場人物と自分を比べて読んで、考えたことを同学年や異学年の友達に発表しよう。</p>	<p>1 「平和」についての自分の考えをまとめて話し合い、単元の目標を設定する。</p> <p>最近も、戦争をしている</p> <p>人の命を奪うなんて、絶対に許せないよ。</p> <p>紹介のモデルの提示</p> <p>平和についての本を読んで、心に残った部分とその理由を、同学年や異学年の友達に紹介しよう。</p>
しらべる⑤	<p>2 「海をかつとばせ」の登場人物に対する自分の考えをまとめ、発表する。(本時5/9)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○教材文の各場面の読み取り</li> <li>○あらすじの確認</li> <li>○登場人物と自分との比較</li> <li>○登場人物に対する自分の考えのまとめ</li> <li>○発表原稿の作成</li> <li>○感想の伝え合い</li> </ul> <p>等身大の登場人物の本の並行読書</p>	<p>2 「一つの花」を読み、平和についての感想をまとめ、紹介する。(本時5/9)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○教材文の各場面の読み取り</li> <li>○キーワードの確認</li> <li>○題名についての話し合い</li> <li>○教材文についての感想のまとめ</li> <li>○紹介原稿の作成</li> <li>○教材文の紹介</li> </ul> <p>平和についての本の並行読書</p>
ふかめる②	<p>3 自分が選んだ本についての考えの発表</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ あらすじと人物像の確認</li> <li>○ 発表原稿の作成</li> </ul>	<p>3 自分が選んだ本についての紹介</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ あらすじと場面設定の確認</li> <li>○ 紹介原稿の作成</li> </ul>
ふりかえる・いかす①	<p>4 合同読書会をして、意見や感想の交流を行う。</p> <p>○話し合いの観点の明確化 ○同学年間・異学年間の交流 ○意見や感想の交流</p> <p>読書のときに、人物像を考えながら読むと楽しいね。</p> <p>「平和」についての本を読みたくなったよ。紹介したい理由があって、分かりやすかった。</p> <p>3年生の発表は、人物像をしっかりとらえていたよ。目標に向けてがんばってね。</p> <p>他にもテーマに沿った読書をしてみたい。読む本の種類も増えそうだ。</p>	

## 5 本 時 (第3学年：5 / 9, 第4学年：5 / 9)

### (1) 目 標

波の子どもと約束を交わす場面のワタルの行動や会話に着目して、気持ちを読み取ることができる。

### (2) 指導に当たって

ワタルの気持ちをとらえさせるために、会話や様子を表す言葉に着目させ、叙述から分かることを記入した小黒板を仲間分けさせながら発表させる。

学年別指導の中で、ガイドの司会による話し合いを中心とした学習を行う。その際、小黒板に「質問・同じ考え・ちがう考え」の視点で友達の考えに対する感想を書かせ、話し合いを深めさせる。また、終末段階では、共通点を見出す際の仲間分けや関係付けの場面の話し合いの深まりを称賛し、相互に交流したことと自分の考えを「強固・付加・修正」したことに気付かせたい。

### (3) 実 際

人物の行動や会話などに着目して、「一つの花」という題名に込めた筆者の思いを読み取ることができる。

筆者の思いをとらえさせるために、キーワードやお父さんの行動などに着目させ、小黒板に書いた考えを関係付けさせながら発表させる。

「質問・同じ考え・ちがう考え」の視点で友達の考えに対する感想を書かせ、話し合いを深めさせる。また、終末段階では、共通点を見出す際の仲間分けや関係付けの場面の話し合いの深まりを称賛し、相互に交流したことと自分の考えを「強固・付加・修正」したことに気付かせたい。

主な学習活動 (第3学年)	教師の位置と具体的な働きかけ	主な学習活動 (第4学年)
<p>1 本時の学習課題を設定する。</p> <p>(1) 出来事に着目しながら教材文を音読し、課題意識をもつ。</p> <p>(2) 本時の学習課題を設定する。</p> <p>どうしてワタルは、もういちど海をふりかえったのだろうか。</p> <p>2 学習の流れを確認する。</p> <p>3 ワタルがふり返った理由を話し合う。</p> <p>【会話の叙述】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「だれだ、お前。」</li> <li>「君たちは、だれだ。」</li> <li>「練習を手伝ってくれるかい。」</li> <li>「せつないに来るからね。」</li> </ul> <p>野球の練習をいっしょにする友達が出て、「うれしそう。」</p> <p>ふつは、「心があたたかくなった。」とかがうよね。</p> <p>共通点 うれしい気持ち</p> <p>【様子を表す言葉】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「さむさで耳がいたい。」</li> <li>「目をばちばちさせた。」</li> <li>「せなかか、ほくほくあたたかかった。」</li> <li>「あたたかかった」から、「よるこんでいる感じが分かる。」</li> </ul> <p>「せなか」が、ほくほくあたたかくなるって、どういうことだろう。</p> <p>4 本時のまとめを行う。</p> <p>いっしょに練習してくれる友だちができたことがうれしくて、やくそくをたしかめるためにふりかえった。</p> <p>5 ワタルの人物像に対する感想を、同学年間で交流する。</p> <p>ほくほく、もっとうよよになってからやくそくをすくすくと思う。でも、すぐに友達になれるのは嬉しいな。(付加・修正)</p> <p>6 自己評価を行い、本時の学習で考えたことを同学年間で交流する。</p> <p>友達と伝え合い、会話や様子から、気持ちを想像することができた。</p>	<p>直接指導</p> <p>1 問いを焦点化させるために、「こわかった海」をふり返った行動に着目させる。</p> <p>3 共通点を見出させるために、出された考えを仲間分けした後に、多くの考えにふくまれるキーワードを話し合わせる。</p> <p>4 確かな考えをもたせさせるために、「せなか」がほくほくした理由を問い、「心があたたかくなった」場合と比較させる。</p> <p>筆者の思いをとらえさせるために、筆者が戦中の筆算から題を付けた理由を問う、戦後の言葉の題と比較させる。</p>	<p>1 本時の学習課題を設定する。</p> <p>(1) 教材文の題を自分で考え、課題意識をもつ。</p> <p>どうして筆者は、「一つの花」という題名にしたのだろうか。</p> <p>(2) 題名が付けられた理由を考えながら、教材文を音読する。</p> <p>2 学習の流れを確認する。</p> <p>3 筆者が「一つの花」という題名を付けた理由を話し合う。</p> <p>【第一場面(戦中)】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ゆみ子のロクゼ</li> <li>一つだけちやうだい。</li> <li>一つだけ――。</li> </ul> <p>食料がなく厳しい</p> <p>【第二場面(戦中)】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>お父さんの行動</li> <li>一輪のコスモスの花を、ゆみ子にあげた。</li> </ul> <p>父と別れて悲しい</p> <p>【第三場面(戦後)】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ゆみ子の様子</li> <li>コスモスのトンネルからスキップして出てきた。</li> </ul> <p>花に囲まれて明るい</p> <p>共通点 平和への願い</p> <p>戦中のつらく苦しい強面のキーワードから、「一つの花」という題を付けているね</p> <p>戦後を表す「コスモスのトンネル」という題ではないかな。</p> <p>4 本時のまとめを行う。</p> <p>戦争をくり返してはいけないという思いを伝えるために、戦中の苦しい場面から「一つの花」という題名を付けた。</p> <p>5 筆者の思いを基に、「一つの花」を同学年間で紹介し合う。</p> <p>「一つだけ」というキーワードから題を付けたと思っていた。戦中の苦しさまで伝えようとしていたことにおどろいた。(付加)</p> <p>6 自己評価を行い、本時の学習で考えたことを同学年間で交流する。</p> <p>友達と伝え合い、題名には、筆者の思いがこめられていると分かった。</p>